

## 令和7年度高の原周辺の街づくり予算

### 高の原駅前広場整備(4億2701万円)

※令和7~9年度まで限度額12億9520万円の債務負担行為設定

まちびらきから50年を迎えた平城・相楽ニュータウンの玄関口である高の原駅において、住民の区域を越えて地域住民や事業者とのつながりによる公共空間の活用を目指して、令和9年度の完成に向けた駅前広場整備工事が行われます。国土交通省によるまちなかウォークラブル推進事業による補助(事業費の50%充当)を活用しています。

具体的には、すずらん館前、イオンモール前、北部会館前、ロータリー前が整備されます。また高の原第一自転車駐車場跡地については民間事業者による活用が検討されます。奈良市、木津川市、精華町をつなぐ高の原地区がさらに住みよい、子育てしやすい住環境となるよう努めて参ります。

**駅前広場のデザインコンセプト**  
多世代がつながる「高の原らしさ」と暮らしの魅力の発信拠点

**デザイン方針**  
方針1 「らしさ」のある緑があふれ、憩を醸し出すことのできるデザイン  
方針2 居心地がよく、まちを眺め、感じられるデザイン  
方針3 多様なシーン、アクティビティが生まれるデザイン

**ランドスケーププラン**  
すずらん館前：まちのリビング  
普段つかいは、住民(特に子育て世代・高齢者)の憩いの場  
ときには、イベント等を通じて、多世代の交流を深める場  
イオンモール前：まちのエントランス  
駅・ロータリーやイオンモールなどの多様な人の往来の玄関口として、高の原のまちと出会い、まちの魅力を発信する場  
北部会館・ロータリー前：まちの原  
駅前でありながら、人通りから外れて、ほっと一息つける場所、一人で、もしくは仲間と過ごし、ときには新たな出会いもある場

**リザーブゾーンの活用**  
「高の原で育った人が帰ってきたくなるまち」の実現のため活用を検討  
今後、事業者へヒアリングなどを実施  
奈良市や地域住民とともに、「未来の高の原の姿」の実現に向けて、連携いただける事業者を選定  
地域に根差した事業を展開

**これからの駅前広場の運営方法**  
地域の利害関係者が協力し、地域の魅力や価値を高めるために駅前広場を活用  
エリアマネジメント(民間事業者による広場の管理)  
自主イベント開催  
スペース貸し  
賑わい施設運営  
情報発信スペース  
利益を原資に  
広場の効果管理  
日常清掃  
ベンチの設置・管理

**説明動画はこちらから、▼ご覧ください▼**  
QRコードを読み取り再生ボタンを押してください  
奈良市都市整備部 都市政策課による住民説明会資料より抜粋

### 高の原橋・橋梁等長寿命化修繕工事委託費(2億円)

※令和8年度完了予定

市が管理する市道橋は662橋が対象です。そのうちⅢ判定・早期措置段階(45橋)やⅣ判定・緊急措置段階(3橋)については早急の改善が必要となります。市道中部第1055線に架かる鉄道をまたぐ高の原橋においてもⅢ判定に該当し、今後増大する老朽化に対応するため、予防的な修繕に取り組んでいます。

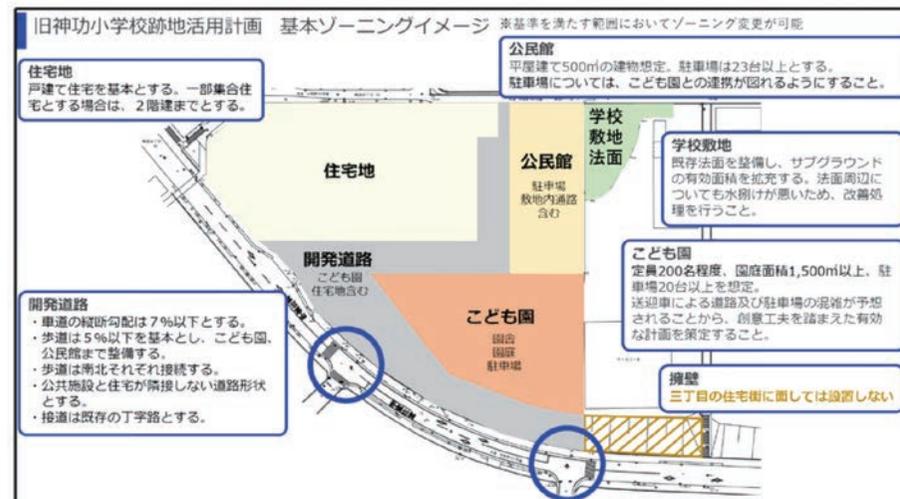


### 旧神功小学校跡地の活用について

令和7年6月定例会において、神功小学校区跡地について公共施設や住宅地への利活用の用途を目的として、3億600万999円で相手方民間企業へ財産処分により譲渡する議案が議決されました。

同敷地内では住宅開発とともに、地域住民からのご要望により、神功こども園ならびに平城西公民館の建替要望に沿った事業が展開される見通しです。私は地域住民から開発行為に係る安全面、環境面の配慮についてのご要望をお聞きしてまいりました。今後とも新たな地域の顔として同地区がリニューアルできるよう行方を見守ってまいります。

#### ●旧神功小学校跡地活用計画に係る基本ゾーニングイメージ



※あくまでも令和7年3月の予算審議の段階でのイメージです。

